



研究テーマ

がん看護におけるケアリングの研究

キーワード：がん看護のケアリング、ケアリング教育

領域・氏名

看護（老年看護学） 教授／ 重久加代子

概要

質の高いがん看護を提供するためには、ケアリング能力を高め、がん看護のケアリングを実践する必要があります。そのため、がん看護特有のケアリングや、ケアリングの効果について研究すると共に、がん看護のケアリング教育に取り組んでいます。

具体的な内容

- ・ケアリングの実践を促進するために、「ケアリング行動質問紙」を作成し、ケアリング行動の実践と看護実践力、看護への姿勢、自己充実的達成動機が関連していることを明らかにしました。
- ・がんセンターに入院しているがん患者を対象に、がん患者の生き方（能動的実践的態度）に影響するケアリングとその効果の大きさを明らかにしました。
- ・がん看護専門看護師やがんサバイバーを対象に、質的研究、量的研究により、がん看護に特有なケアリングを抽出し、がん看護特有のケアリングを基盤とするケアリングの構造を導きました。次に、これらの研究成果を用いて、「寺本の著書『看護のなかの死』で実践された終末期がん看護のケアリング」を明らかにしました。
- ・緩和ケア病棟で終末期がん看護のケアリング教育を行い、その成果を明らかにする研究や、がん看護のケアリング実践自己評価尺度の開発を行っています。今後は、ケアリング能力を高めるための看護師の教育に取り組んでいきたいと考えています。

Information（情報）

ケアリング、エンドオブライフケア、終末期看護、高齢者の看護に関するテーマでの出前講義が可能です。